令和７年度　浦臼町認定こども園なかよし　園評価

上段が今年度の集計結果

Ⅰ　保護者アンケート集計

下段は昨年度の集計結果

番号	アンケート内容	A	B	C	D	E
1	園児は、明るく、元気で、心の優しい子どもに育っている。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		54.3%	42.9%	2.9%	0.0%	0.0%
2	園では、園児一人一人の個性を大切にして指導していると感じる。	42.4%	54.5%	3.0%	0.0%	0.0%
		48.6%	40.0%	5.7%	2.9%	2.9%
3	園児は、命の大切さや社会のルールが身についてきている。	54.5%	42.4%	3.0%	0.0%	0.0%
		42.9%	48.6%	5.7%	0.0%	2.9%
4	園児は、あいさつや身の回りの始末（衣服の着脱・排泄・手洗い・うがい等）など、基本的な生活習慣が身についてきている。	69.7%	30.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	園は、安全に十分配慮された環境で活動が行われていると感じる。	68.8%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		45.7%	45.7%	2.9%	2.9%	2.9%
6	園児は、給食や食育（教材園、手作り弁当など）を通して、食べる事への意欲や食に関心を持てるようになった。	69.7%	30.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		65.7%	28.6%	5.7%	0.0%	0.0%
7	園は、保護者との連携を図り、様々な体験ができる教育・保育を行っていると感じる。	87.1%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%
		77.1%	17.1%	2.9%	0.0%	2.9%
8	園だよりやクラスだよりなどを通じて、各種行事やクラスの様子などを知ることができる。	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
		85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
9	園は、子どものしつけや心配事等、保護者の相談に応じていると感じる。	69.7%	24.2%	6.1%	0.0%	0.0%
		62.9%	22.9%	8.6%	2.9%	2.9%
10	園は、子どもの病気や怪我、健康状態について保護者に適切に伝え対応していると感じる。	51.5%	42.4%	6.1%	0.0%	0.0%
		68.6%	22.9%	5.7%	2.9%	0.0%
11	本年度の園の教育・保育についておおむね満足している。	60.6%	39.4%	0.0%	0.0%	0.0%
		62.9%	25.7%	11.4%	0.0%	0.0%

分析と対応

・No.２と10以外は高い評価を頂いた。同じA評価ではあっても幅はあるのだから、A+Bが昨年より高くても、Aが下がっていればそれだけ十分満足していない家庭があると捉えた。
・No.２については、「園児一人一人の個性を大切にする」ことについて温度差があると考える。「子のしたいようにする、甘やかす」とは全くちがうこと、子の得意・不得意あっても優劣はなく全てがその子らしさでありかけがえのない個と捉えること、保育者が個性を理解し尊重することで、子どもは自信を持って自己実現できるとの啓発を園だよりで行った。
・No.10については、コメントを書かれた家庭に個別に対応・説明し、納得して頂いた。

記入頂いたコメントから抜粋

1	縦割りのおかげか下の子に優しくするお兄さんお姉さんの姿も見て、出来るようになろうとしてます。 大好きな先生やお友達を見つけて楽しく過ごせています。
2	各々に合わせた指導をしてくれていると思います。 息子の性格を理解して対応をしていただけていると感じています。
3	人・物を大切にするという心が育っていると思います。 家ではなかなかできないことなのでありがたいです。

4	排泄、うがいが上手になりました。 遅れがちだったので出来るようになってきていて良かったです。
5	安全に配慮されていると思います。 問題ないと思います。
6	お米の成長に興味を持ったり食物が成長する過程に興味を持つようになりました。 給食は食べるが家では食べない。
7	イベントに親も参加できるものが多く本当に楽しんでいます。お化け屋敷やお店屋さんごっこなど作る系を楽しんでいました。 子どもと一緒に楽しめる行事がたくさんあってありがたいです。
8	学期ごとにまとめてもらえている写真が本当に嬉しいです。 クラスだよりが毎回楽しみです。
9	細かい心配事を多く相談していますが親身になって対応してもらえていると感じます。 お迎えのときなどいつも親身に話を聞いていただけています。
10	小さな怪我でもしっかり説明してもらえました。 怪我は仕方ないので、「何で、なぜ」を丁寧に教えてくださるので安心できています。
11	満足です。
その他	こども園に行くようになってから、びっくりするくらい出来ることが増えていって、本人も行くたくないとはほとんど言わず、楽しんでいるように見えるので、いつも感謝しています。ありがとうございます。 入園時から現在まで本当にたくさんの経験をさせてもらい、成長した姿を見せてもらうことができました。ありがとうございました。

改善を求める意見への回答

3	肌着での午睡は災害時の避難に遅れがでないか心配です。 ➔避難の推奨時間は３～５分程度とされています。園ではベルが鳴り服を着て逃げるまでがおよそ３分程度であり安全に避難できると判断しています。他にも寝てる間にかく汗などの衛生面やパジャマを着せると着脱が増え時間がかかることから肌着のまま午睡しています。今後も安全な避難が出来るよう務めますし、ご希望あれば避難訓練を公開しますのでお申し出ください。
その他	音楽関連の行事が近くなると預かりの園児が沢山いるのに練習を始めるのはどうなのでしょう？ ➔なかよしでは感性豊かな子の育成を目指して表現活動を行っています。子どもたちが表現する楽しさを味わえるよう、職員も子どもと同じように練習し楽器演奏を発表する姿を見せ励みになるようにしています。午睡後は合同保育で過ごしており、必要に応じて代替の職員を配置し安全な保育に努めています。ご理解いただければと思います。
その他	土曜預かりで「明日◯君一人かも」等と言われたことに疑問です。 ➔「一人で寂しい思いをした」「一人のときは教えてもらいたい」という保護者の声があり情報提供していました。週６日登園している子どもには疲れが見えます。保育の必要な場合は預けて当然ですが、仕事が休みなど保育の必要のない日は、家庭で子どもと触れ合う時間を設けてください。
その他	退職された先生の挨拶の場がなく、報告も寂しく感じました。 ➔退職される先生については、通常は子どもたちとお別れする場を設けていますが、該当の職員はその場も持てないほど急な展開でした。園だよりに載せた退職の報告は、園から保護者に向けての文でしたので、担任がいなくなることについて、該当クラスの保護者に対し不安やご迷惑をおかけしたことを謝罪するものでした。
そ	別の子の服を着ていたり、おしぼりが間違ってカバンに入っていることがありました。

の他	➔担任が毎日毎回いるわけではないので、そうした間違いが起きてしまい不安な気持ちにさせたこと大変申し訳ないと思います。今後は担任も担任の代わりに入った保育教諭も十分気をつけていきます。
その他	お迎え時に園での様子を聞けない時がありました。 ➔お迎え時にはできるだけ担任か或いは担任の代わりに入った保育教諭が玄関に出てお話するよう務めましたが、事故防止と指導のためにどうしても手を離せない時がありました。玄関でお待ち頂くとき読んでいただけるように毎日ホワイトボードにクラスの活動を記載しておりますので、お子さんの様子の一端をご承知くださると幸いです。来年度は１クラス１担任ではなく、未満児・以上児それぞれ３クラスを４人の保育教諭が担当するチーム保育を行います。担任不在の日がなくなるとともに月２回発行していたクラス便りを月４回発行にするなど、保護者とのつながりをより深めた運営をしたいと考えています。
その他	登園が９時までなので、コンサートや発表会練習は９時以降に始めていただきたいです。 ➔運動会練習と同様に、子どもたちからの希望があり、クラス活動を始める前までの集団の遊びとして練習をしていました。お子さんにとっては自分だけ遅れたと感じたことがあったのでしょうが大丈夫です。他にも９時前の登園をお願いしたなかよし祭りや遠足等の日に対応をしていただき、ありがとうございました。

II　保育教諭の自己評価

・ 担任は、年間カリキュラム作成と年度末の反省、学期ごとの計画作成と反省、月案作成と反省及び子どもの姿、週案作成と反省、日誌記入及び週のねらい達成の有無と反省を書き、副主任・主任・副園長からの直し指示を受け、最終的に園長の決済を受けている。
・ 上記に加え、保育教諭として必要な３項目について自ら向上を図る１年とすることを目指した自己評価を行った。３項目の内容は、①教育・保育の基本（クラスの統率と個々の主体性発揮）②子に対する指導力（表情、適切な言語、簡潔に話すこと、視野の広さ、ピアノ伴奏など）③環境構成、教材開発（ねらいと結果を比較し指導を見直す、ねらい達成に向け計画的に教材を準備・開発する）。３項目それぞれについて、期首時に自己評価・自分の強みと弱み・課題や実践すること、半期面談時に自己評価・反省・後半の課題や実践すること、期末時に年間自己評価・反省を書いて考課者と面談を行い、指導を受ける体制とした。
・ IMDを担当している保育教諭は、年１９回のIMDを指導する前に指導案を作成し、副園長のチェックを受けて手直しを行ってきた。指導後は、ねらいが達成できたかどうかの反省と次回への課題を明確にして、子どもの変容及び指導者自身の指導の成果を積み重ねてきた。

三　園の自己評価　課題と対応（改善）策

・ 基本理念、教育・保育方針、教育・保育目標を理解し、それらの達成をめざした活動をしているか。	・リーダー制と教務に役職者以外が入ったことでスムーズだった。意思決定が速くでき、かつ速やかに共有化する体制を維持する。
・ 園内の報告・連絡・相談が遅れることなく円滑にできているか。	・問題解決に向け連携して取り組めた。話し合ったことを生かせない職員がいる。今後も報連相をしっかりやっていく。
・ 園舎の整理、維持管理、経費節減、消耗品の管理を適切に行なっているか。	・消耗品が無くなりそうなときに声を掛けてもらって対応できた。残量が少ないと気づいたら教務係へ伝える。
・ 園内外の研修に努め、自信を持たせ自立心を養う教育・保育を展開できているか。	・今年度も十分できていた。日常の教育・保育や行事の取り組み、各種の計画と反省、園の研修、キャリアアップ研修、自己研鑽などにより、職員も日々成長できている。

・ 保護者への情報発信、小中との連携、家庭との連携、地域人材の活用はできているか。	・えみるを活用し、保護者・地域にも手伝って頂いた。小学校との連携は再構築していく。保護者への情報発信は十分しているが、うまく伝わらないことがあるのでAIも活用し伝え方を工夫していく。
・ ねらいに従って環境構成を決めて教育・保育にあたるとともに環境の再構成ができているか。 教育・保育の反省を次の活動に生かしているか。 集団生活や社会のルールを守るように指導しているか。	・プレイホールの環境構成がうまくいった。年長児担任として全体をリードする進め方を学べた。保護者への対策は園としての課題と捉え、どう理解してもらうか考えていきたい。
・ 園児の健康状態を把握し、負傷・疾病の場合は迅速にかつ適切な手当をしているか。 救急処置に対して積極的に勉強するとともに、適正な行動をとることができるか。 虐待想定事案は上司への報告と子の保護に務める。	・救急の講習、園内研修は今後も行う。園児のケガの対応として、保護者に真実を伝えられず不信感に繋がってしまったので、同じことを繰り返さないようにしたい。職員同士と上司への報連相をしっかりすることと、真実のみを伝えること。
・ 保護者、地域と連携を取り、なかよしに対する理解を深めている。	・地域と密着することが土台となり、なかよしへの理解を深められた。

四　関係者評価・第三者評価

保護者アンケート、自己評価、普段の教育・保育活動をもとに、例年通り小学校の校長・教頭先生、及び今年は新たに中学校の校長先生・教頭先生にも評価をしていただいた。

① 基本理念、教育・保育方針の実現に向けた教育・保育が実践できているか
② 教育・保育目標の達成度
③ 保護者や関係者の意見を踏まえた改善の取組は妥当か

小学校～いずれもA評価。
中学校～校長先生はいずれもA評価。教頭先生は③についてのみB評価をいただいた。
さらに中学校から貴重なご意見を３点いただいた。

・保護者との連携にかかわり、保護者の要望を丁寧に受け止めることは大切ですが、一方的に受け止めるだけではなく、園（学校）からも保護者に対してあるべき幼児教育（学校教育）の考え方を伝え理解を深めていただくことが必要であると考えており、保護者への回答内容からこども園ではそのような方針に基づいた対応をされていると判断いたしました。
・小学校との連携・再構築について、資料の中からは具体的な課題を把握することができませんでしたが、是非、改善に向けた取組を進めていただきたいと思います。
・インクルーシブ教育システムの考え方に立った保育は今後一層重要になってくると思われますので、全体計画の中にもそのことに関する記述があってもいいのではないかと感じました。

インクルーシブ教育の考えに立つ視点の欠如を指摘いただいた。インクルーシブ教育とは、国籍や障がいの有無にかかわらず、共に学ぶことを目指す教育を指す。なかよしにおいては、できないと決めつけず、どの子にも平等にチャンスを与えたり、特別な配慮の必要な子には合理的配慮をするよう気をつけた教育及び保育に努めている。園評価にこの観点を次年度取り入れていく。